

## 令和4年度 第6回 愛宕小学校 学校運営協議会 実施報告

1 日 時 令和5年2月27日（月）9：00～12：30

2 場 所 愛宕小学校 本館2階会議室

### 3 学校運営協議会

#### ① あいさつ

##### 【委員長】

6年生を送る会を参観して、子どもたちの様子に感激した。各学年、様々な表現があり、おもしろさがあり、児童は一生懸命頑張っていた。登校時、6年生に「見に行くよ。」と声を掛けたら「ありがとうございます」と応えてくれた。とても嬉しいやりとりができた。

##### 【校長】

今年の6年生を送る会は、対面型で行うことができ、学校運営協議会委員の皆様や学校支援ボランティアさんにも参観いただけて良かった。どの子も一生懸命に取り組み、成就感をもてたようである。コロナ禍によって、音楽や体育、音読等、表現活動に制限がある期間が長かったため、次年度以降は、表現技能もしっかりと育てていきたい。また、人前で伸び伸びと表現することができるよう、個の自立心の育成と、違いを認め合える集団づくりにも努めていきたい。

#### ② 2月の学校教育活動報告（学校より）

##### ○外部講師を招いての授業研究

社会科授業研究：三重大学教職大学院 市川先生

国語科授業研究：桜花学園大学 森川先生

体育科授業研究：三重大学教育学部附属小 矢戸先生

##### ○地域教材の開発と問いをつくって追及する授業実践

紀の郷（たくあん）作り 古川さん

Yamasenの（桃、伊勢いも、洋ラン、観葉植物）栽培 和田さん

##### ○入学説明会 入学式や学校生活、登下校について

学齢期の家庭教育の重要性について（親子の絆、親子読書等）

#### ③ 協議事項

##### (1) 6年生を送る会を参観して（各委員より）

- ・初めて送る会を参観して感激した。「かわいい」から「立派」へ、学年が進むにつれ成長を感じた。
- ・年齢を追うごとの成長は、学校教育の成果でもある。
- ・勉強だけでなく、このような活動による子どもたちの絆づくりも必要だ。
- ・参観者にわかるよう、各演目の紹介があるとよい。

## (2) 学校関係者評価（各委員より）

### ① 学力向上に向けた取組

- ・みえスタディチェックの結果から見える課題について、補充学習は行ったのか。  
→5 学年においては、4 月の全国学力・学習状況調査を念頭に、しっかりと復習・補充学習を進めている。個に応じた学習指導も大切にしていきたい。
- 1 年間の総まとめとして、春休みにも宿題を出す。保護者への協力依頼も併せて行っていきたい。
- ・子どもたちが主体的・対話的に学ぶ授業への改善は進んでいるか。  
→感染防止対策による活動制限も緩和されてきている。本年度は、研究教科を生活科・社会科として授業改善に取り組んできたが、道半ばである。次年度は、児童の主体性・対話性をさらに高め、他の教科でも授業改善を前進させたい。
- ・教員同士が、互いに授業を見合い、高め合う研修を確立してほしい。  
→授業を日常的に見合えるようにするためにも、子どもたちが主体となって学習ができる学級集団を育成することに、全校で取り組んでいく。

### ② 子どもが安心して学べる環境づくり

- ・登校の見守りをしていて、遅刻する児童が複数いることが気になる。  
→遅刻の理由は様々だが、子どもたちの生活背景を踏まえ、保護者と連携して取組を行っていきたい。
- ・塩浜街道沿いの運動場フェンスの改修についての進捗状況はいかがか。  
→市教育委員会へ重ねて陳情をしている。今後も学校の現状を丁寧に伝えていきたい。

### ③ 家庭・地域との連携

- ・地域行事へ子どもたちがさらに積極的に参加してほしい。  
→愛宕小学校区では、学校と地域が一緒につくる行事、子どもたちが企画・運営する地域行事があり、子どもたちと地域のつながりも深い。親子や子どもと地域との絆を一層深めていくために、学校としてさらに働きかけをしていきたい。
- ・スクリーンタイム削減等、家庭教育をどのように支援していくのか。  
→昨年秋の就学時健診では、学校生活で必要となる「時間を守って行動する」ことを家庭でどのように学ばせるか、学校長から保護者に話をした。共働きにより保護者が多忙化する現代、家庭教育の在り方について保護者が学ぶことができるよう、学校からもさらに発信をする必要を感じている。また、PTA 家庭教育学級の活動も重要になってくると考える。学校と PTA とで連携した取組を模索していきたい。また、幼保から小学校へ滑らかな接続ができるよう、近隣の幼稚園や保育園との連携も図っていきたい。

### ④ 学び働きやすい環境

- ・学校における時間外労働の実態と働き方改革の取組状況はいかがか。  
→本年度、校時表を見直し、1 日当たり約 20 分の放課後の時間を生み出したが、時間外労働時間は期待したほど減少していない。感染防止対策の緩和に応じた行

事等の見直し作業等も影響していると思われる。今後、「定時間集中」という意識を職員に浸透させ、業務改善を進めていきたい。ただ、教員は、技術職であり、自らの技を磨く時間は労働時間とはならない。在校時間がそのまま労働時間とはならないところが問題だが、職員が少しでも早く帰れるよう、取組を進めていきたい。

・小学校でも教科担任制を進めているのか。

→小学校は、これまで学級担任制によって教育を行ってきた。それは、子どもたち一人ひとりを丁寧に見つめ、全人的な教育を大切にしてきたからである。担任教員と生活をともにすることで、基本的な生活習慣も丁寧に指導をしてきた。一方で、複数の目で子どもを見つめることも大切であり、本年度は高学年において一部の教科で教科担任制を実施している。学級担任制と教科担任制それぞれのよさを活かした教育を進めていきたい。

### (3) 令和 5 年度学校経営の改革方針(案)

学校運営協議会の意見から次年度の学校改革方針に以下の点を追加した。

- ICT を効果的に活用した授業や家庭教育・家庭学習についての研修の実施。
- 社会・国語・算数における、対話によって考えを深めていく授業実践を実現。
- 職員一人ひとりの課題に応じた学びと新しい学力観に則った授業を生み出す職員研修の充実
- 全職員による授業公開と職員同士が学び合う機会の保障
- 授業や家庭における読書活動の推進，スクリーンタイムの削減
- PTA と連携した家庭の教育力向上・充実
- 挨拶の本質を学び，気持ちの伝わる挨拶のできる子どもの育成

### (4)その他

- 令和 5 年度学校行事予定について（学校だより最終号でお知らせします。）

### (5)連絡

- 来年度の学校運営協議会委員の選出について
- 令和 5 年度第 1 回学校運営協議会（予定）5 月 26 日(金)9:30～